

ラオスの投資環境



2023年12月18日

日本貿易振興機構(ジェトロ)
ビエンチャン事務所

JETRO

ラオスの一般概況

人口 約744.3万人（2022年）（埼玉県に相当）

面積 23万6,800km²（日本の本州に相当）

首都 ビエンチャン（Vientiane）
（人口：約98.9万人:2022年）

民族 公式にはラオ族をはじめ計50民族

公用語 ラオス語

宗教 仏教

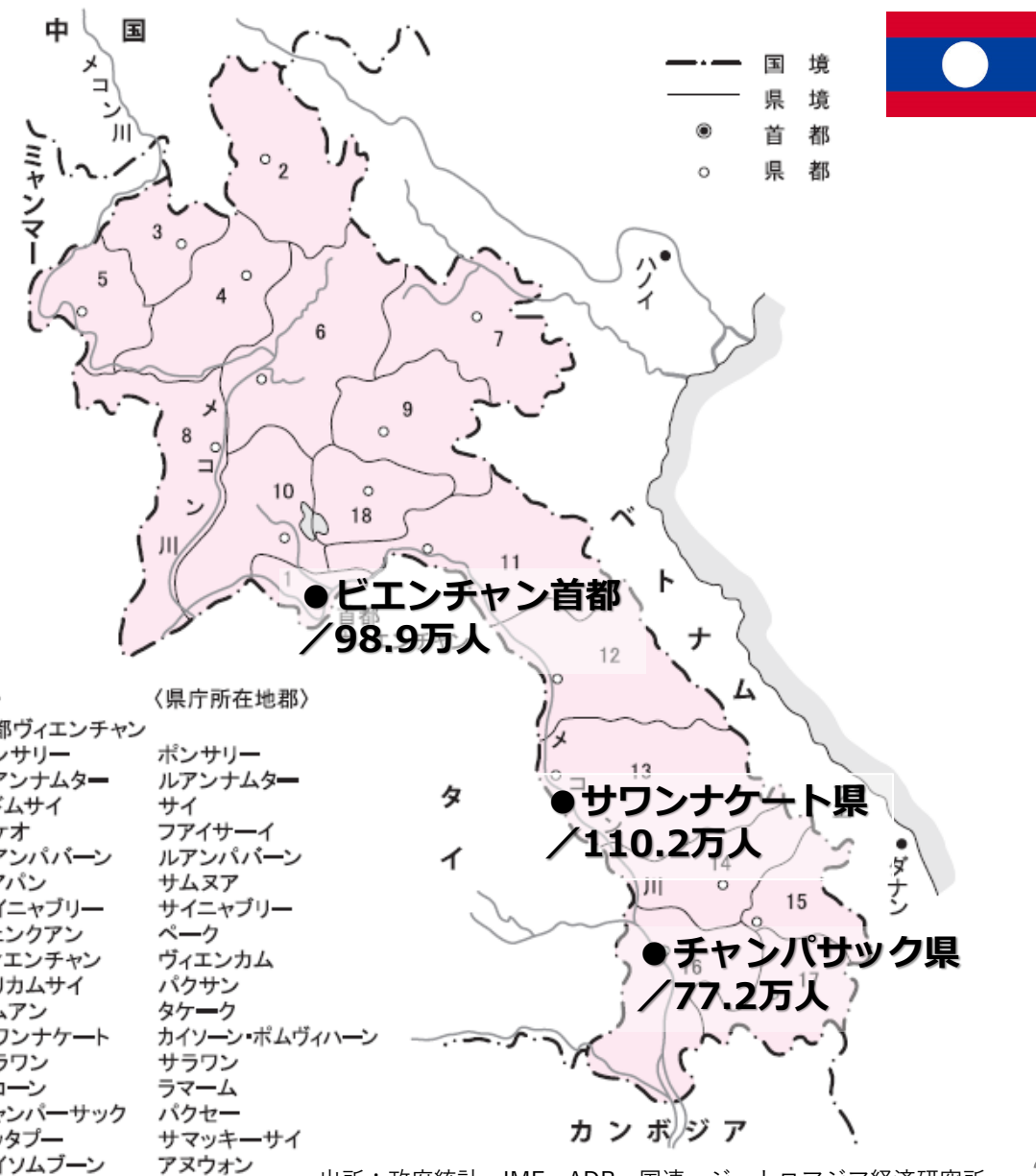
通貨 キープ /kip

政治体制 人民民主共和制、一院制（164名）
国家主席：トンルン・シースリット
首相：ソンサイ・シーパンドン（22年12月就任）
※5年ごとに選挙を実施（2021年2月）

GDP GDP 192兆1450億キープ（約113億ドル）
GDP割合 農業17.5%、工業34.1%、サービス37.1%
（2022年）

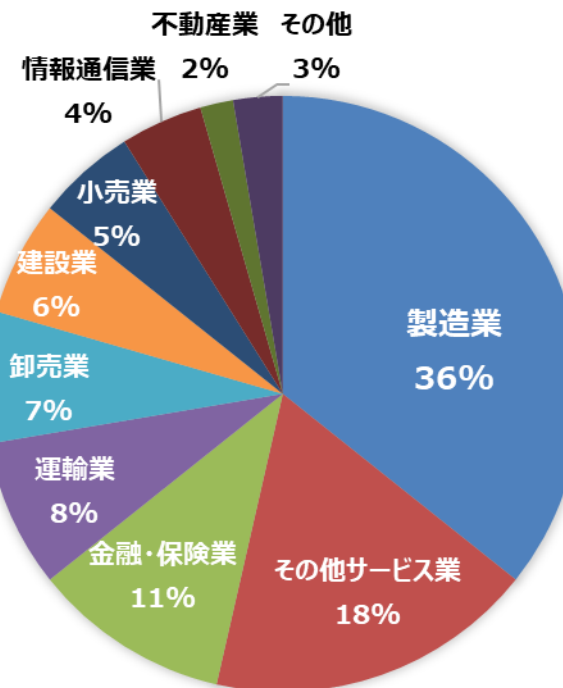
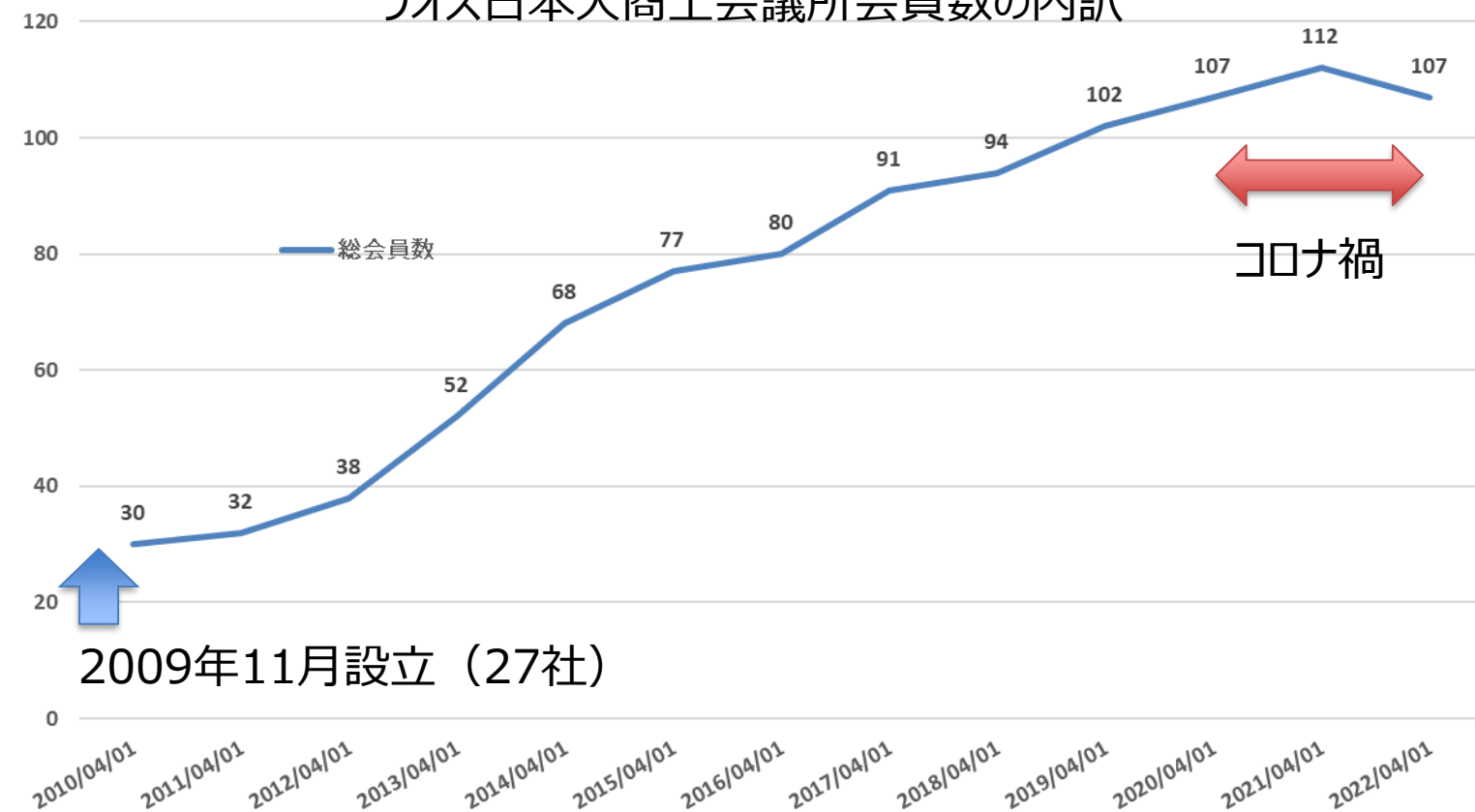
国家予算 歳入38兆4480億キープ（約20億ドル）
（2023年）

インフレ率 0.8%（2017）、2.04%（2018）3.28%（2019）
5.07%（2020）、3.75%（2021）、22.96%（2022）



- 日系企業総数：160数社（在ラオス日本大使館調べ）
- ラオス日本人商工会議所会員数：111社

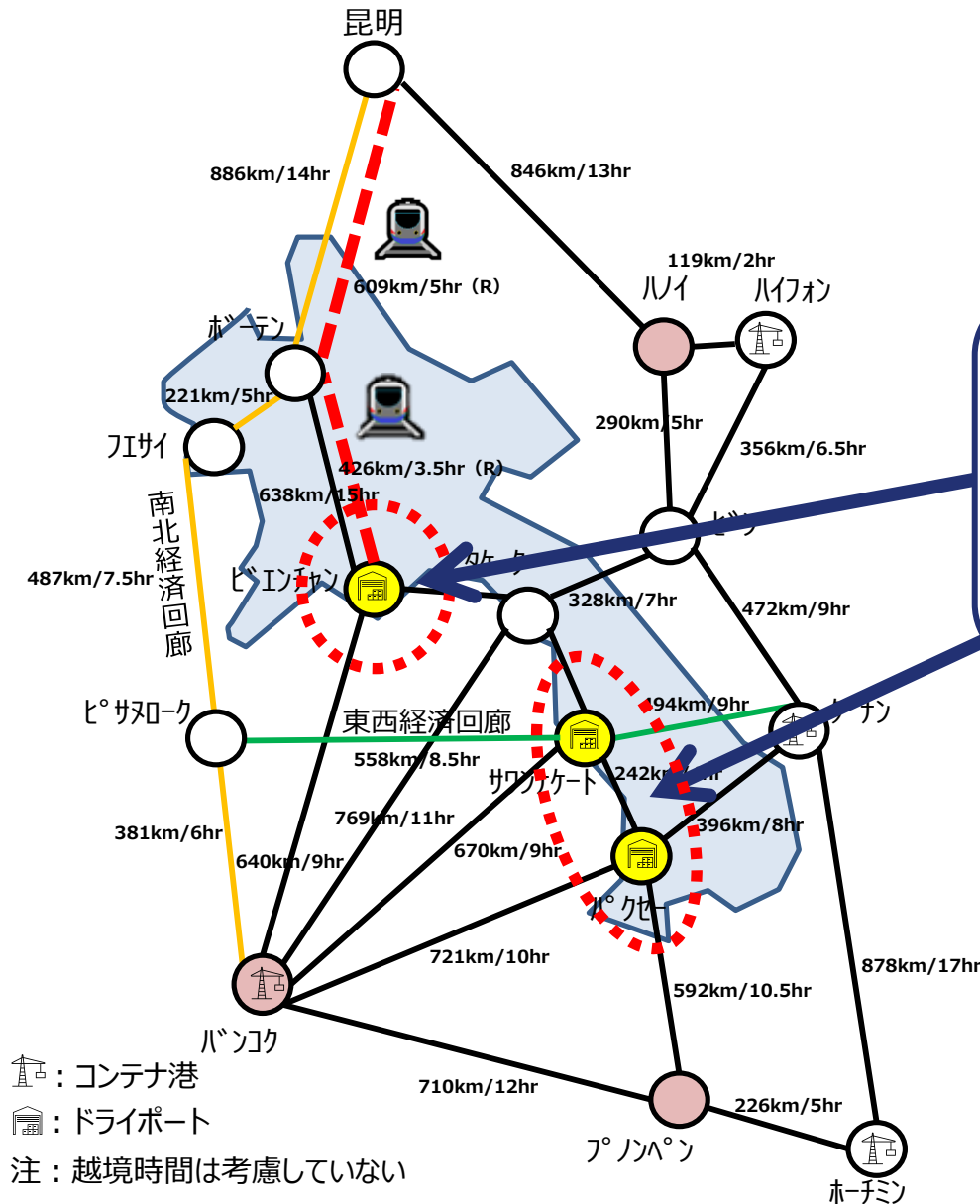
ラオス日本人商工会議所会員数の内訳



ラオス日本人商工会議所会員の業種別割合

ラオス進出のメリット

- ① タイの高騰する人件費、高齢化
- ② タイ北部、東北部との接続性
- ③ タイ～ベトナム、中国への交通の要所としての可能性
- ④ 言語・文字がタイと似ているため、タイ語での展開が可能（技術指導、現場管理など）



ラオス
 設備・材料を支給し一部工程（加工、組み立て等）を実施
 労働集約的な工程。
 製品は全量のマザー工場に戻す。

タイ/ベトナム
 国内にマザー工場

首都ビエンチャン、サワンナケート県、チャムパサック県のSEZへの進出が多い

ビエンチャン首都

【縫製・制靴】

Yシャツ、スーツ、スラックス、パンツ、カジュアル、子供服、ユニフォーム、寝具、安全靴等

【電気・電子部品】

ワイヤーハーネス、ケーブル、電子機器、サーモセンサー、コイル、HDD等

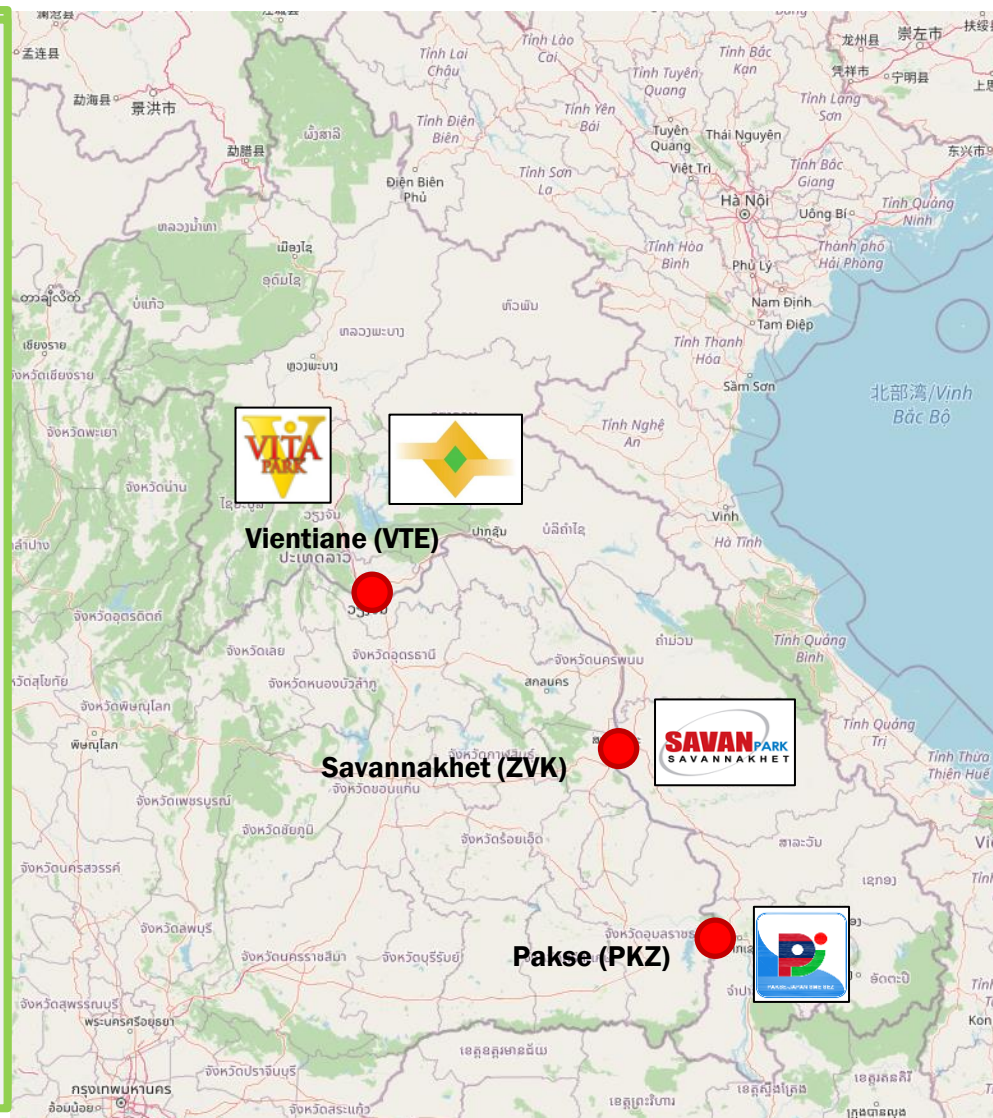
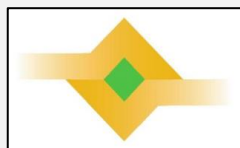
【その他】

バイク部品、ツール、キャスター、おもちゃ等

経済特区

VITA Park

Saysettha Development Zone



サワンナケート県

【電気・電子部品】

カメラ、コイル、ケーブル等

【その他】

靴下、おもちゃ、化粧品等

経済特区

Savan Seno Special Economic Zone
Savan Park - Zone C



チャムパサック県(パクセー市)

【縫製】

子供服、剣道用品、等

【電気・電子部品】

ハーネス、電子部品等

【その他】

化粧筆、コンクリート、和装品、ジュエリー、タバコ製品等

経済特区

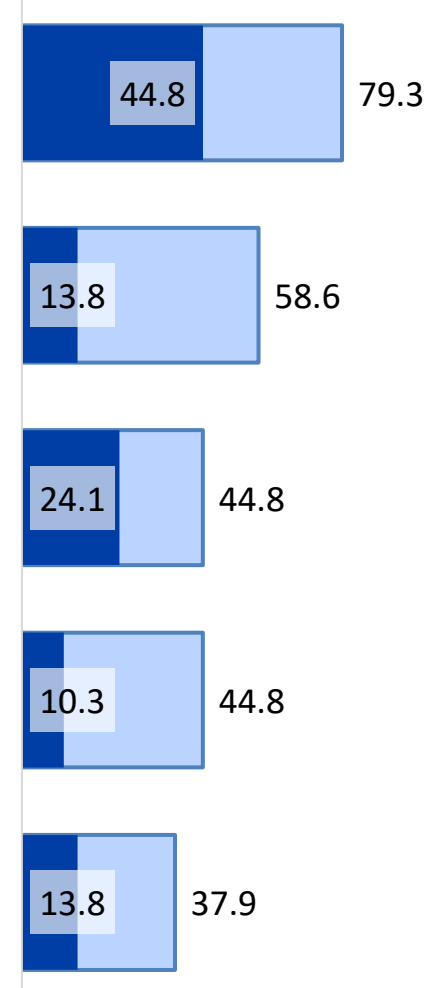
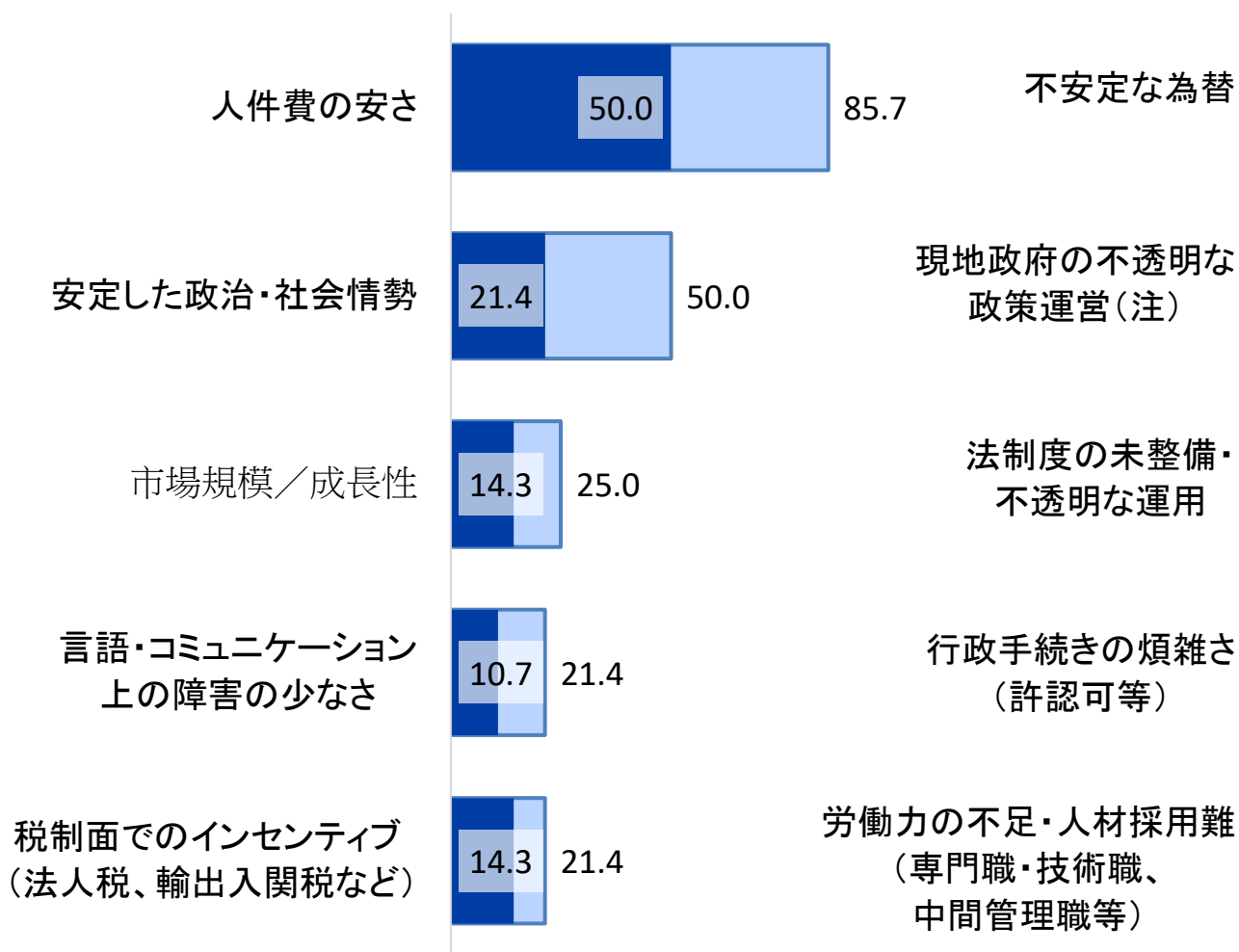
Pakse-Japan Special Economic Zone



© OpenStreetMap contributors

ラオス投資環境上のメリット上位5項目（複数回答）

投資環境上のリスク上位5項目（複数回答）



グラフの見方

- 水色はビジネス環境上のメリット/リスクとして回答した企業の割合。紺色はメリット/リスクとして特に当てはまると回答した企業の割合。特に当てはまるものは最大3項目まで選択可能。
- 国・地域名の（）内は有効回答数。

各国の賃金等情勢比較（2023年9月時点）

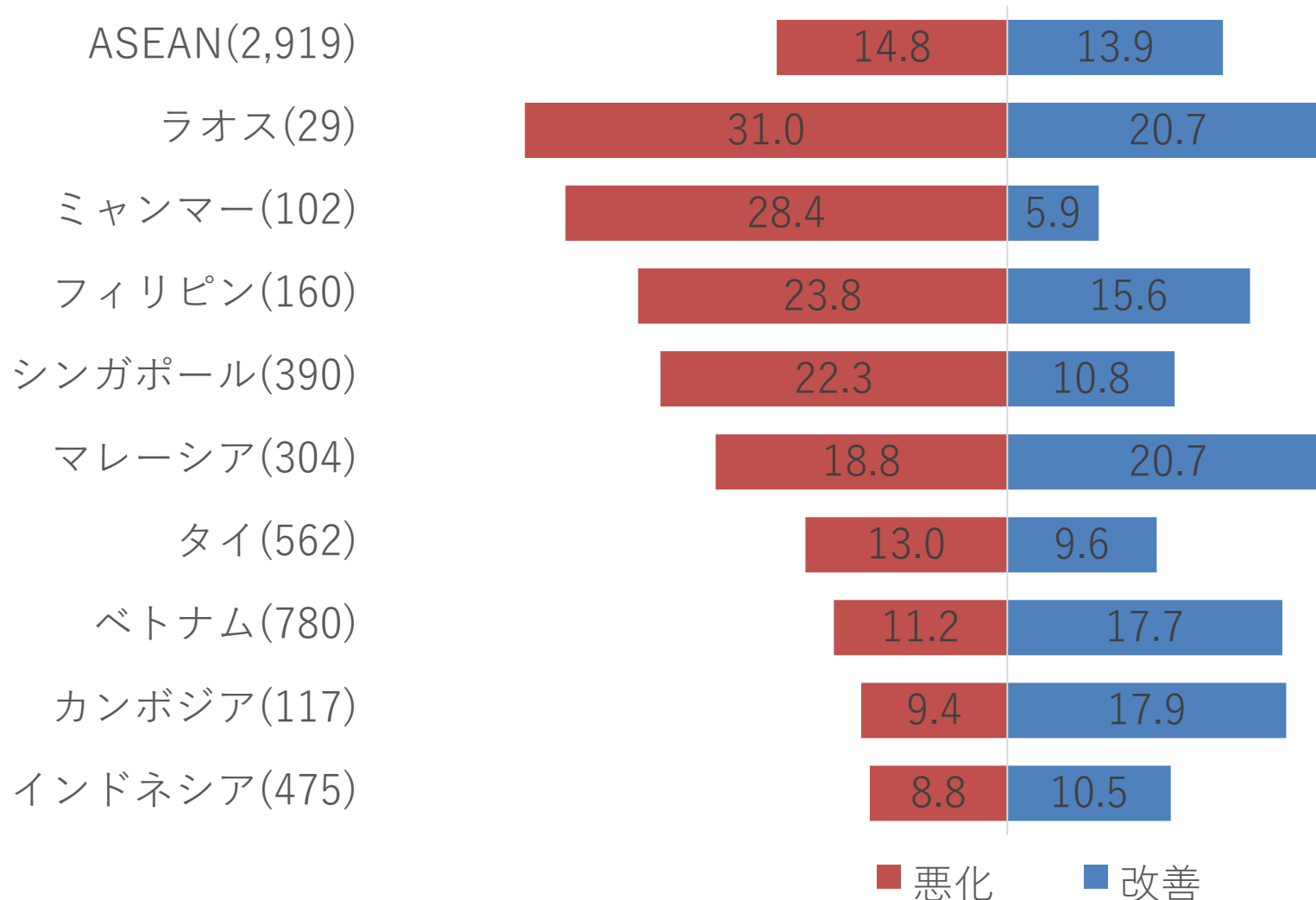
*第一地域：ハノイ、ハイフォン、HCM等

	ラオス	カンボジア	ミャンマー	ベトナム	タイ
最低賃金	160万キープ (約78ドル) 2023年10月より	200ドル/月 (2023年1月より)	4800チャット/日 (約2.29ドル/日) (約59ドル/月) (2018年5月より)	468万ドン/月 (約192ドル/月) (2022年7月より) (第一地域)*	328～354バーツ/日 (約248ドル/月) (2022年10月より) (バンコク)
月額基本給平均 (日系企業製造業・作業員)	129ドル	257ドル	112ドル	273ドル	410ドル
月額基本給平均 (日系企業製造業・マネージャー)	974ドル	1086ドル	529ドル	1107ドル	1496ドル
月額基本給平均 (日系企業非製造業・スタッフ)	399ドル	582ドル	392ドル	733ドル	807ドル
月額基本給平均 (日系企業非製造業・マネージャー)	1092ドル	1395ドル	950ドル	1575ドル	1696ドル
平均賞与（製造業・作業員）	1.0ヵ月	0.8ヵ月	1.1ヵ月	1.5ヵ月	2.8ヵ月
平均賞与（非製造業・スタッフ）	2.3ヵ月	1.1ヵ月	1.2ヵ月	1.6ヵ月	2.5ヵ月

最低賃金のレートは23年8月

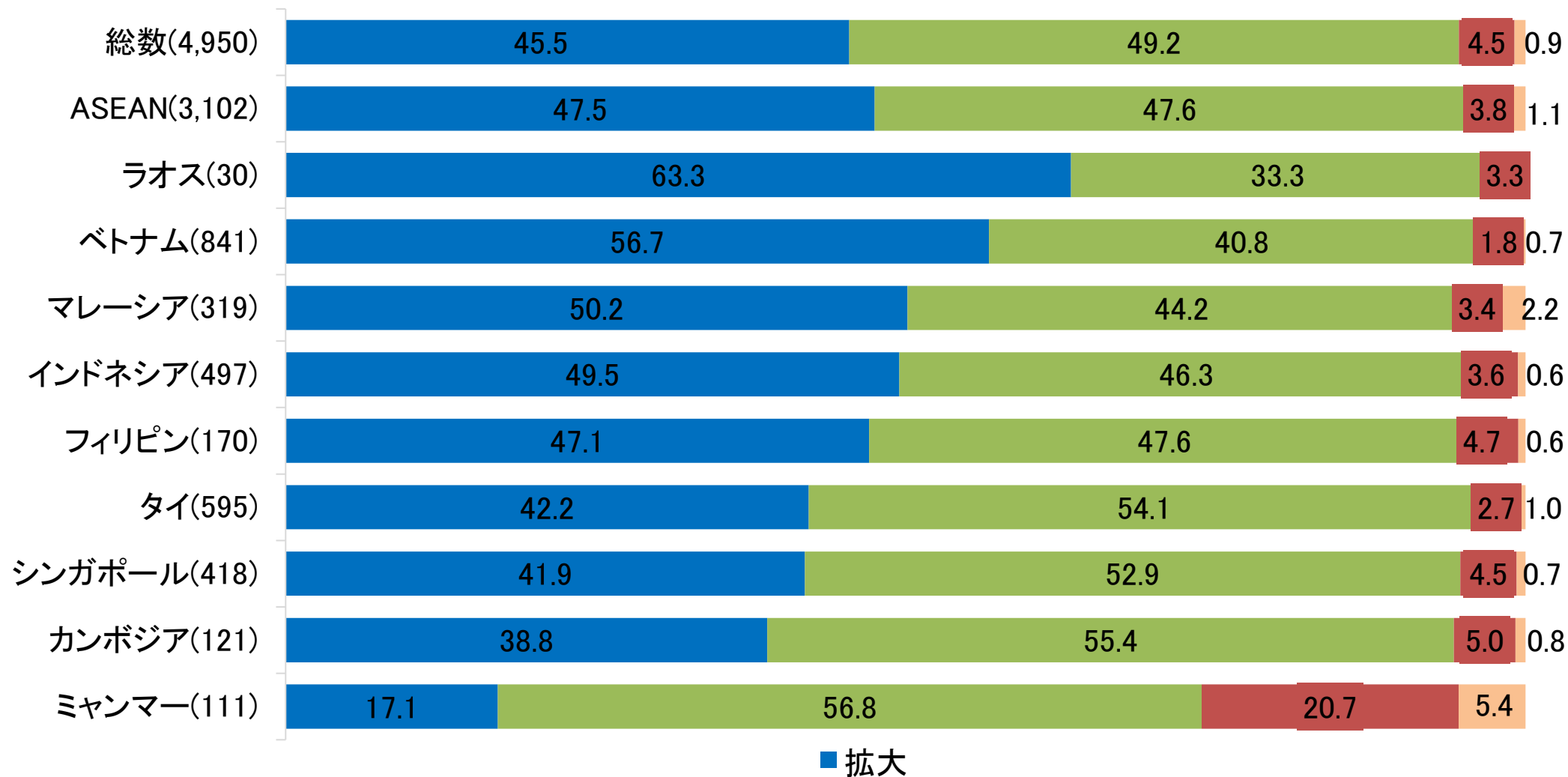
出所)「2023年度アジア・オセアニア進出日系企業実態調査」
※その他報道資料より作成

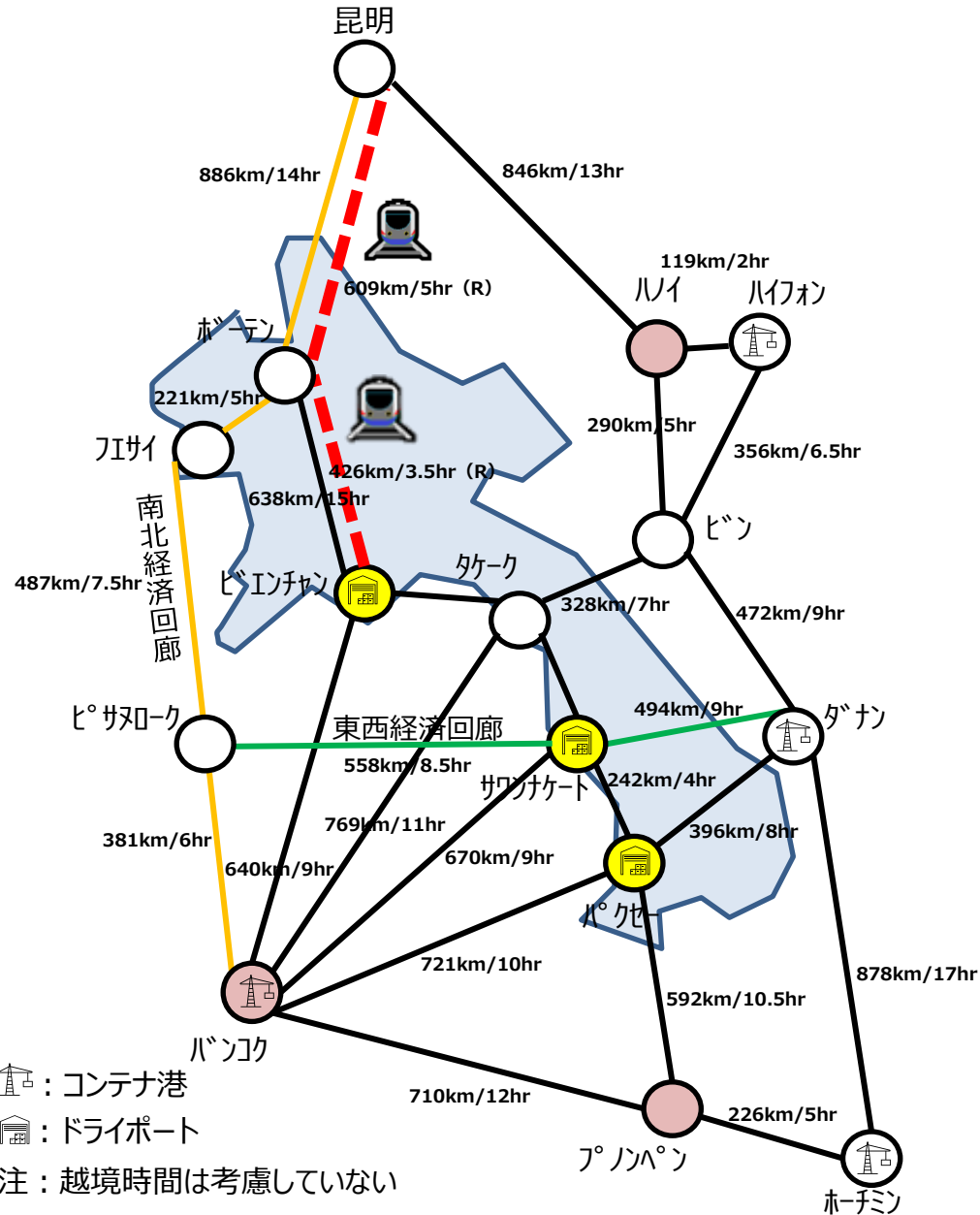
各国・地域の雇用状況の変化（2022年比）



→ キープ下落、高インフレにより
低賃金労働者の外国への出稼ぎが加速
改善率も高い点に留意

今後1～2年の事業展開の方向性（ASEAN国別）





- 全国の国道整備、高速道路整備が進む
- 中老鉄道（21年12月開通）、タイ鉄道カムサワート駅完成（23年中開通）
- タイ・ラオス第5友好橋（24年初旬に開通）
- 交通の要所に経済特区を開発、鉄道沿線ベルト開発
- ドライポート開発：9か所で認可済。3カ所で稼働
 - ① サワナケートDP（2016年稼働）
 - ② タナレーンDP（2022年稼働）
 - ③ ワンタオDP（2022年稼働）
 - ④ タークドライポート（建設中）

: コンテナ港
 : ドライポート
 注：越境時間は考慮していない

項目	単位	2011年	2020年
全世帯数	1万世帯	102.1	124.1
農家世帯の割合	%	77%	52%
キャッサバ栽培世帯数	世帯	2,600	12,989
天然ゴム栽培世帯数	世帯	66,500	91,852

資料：2019/20年第3回農業調査からジェトロ作成

ラオスの主な農産物輸出(2022年)

品目	輸出額 (100万\$)
キャッサバ	324.1
バナナ	246.4
コーヒー豆	65.7
トウモロコシ	46.2
スイカ	31.8
ハトムギ	27.6
野菜類	14.2
サトウキビ	14.0
豆類	12.0
タバコ葉	10.2
もち米	9.5
うるち米	0.7

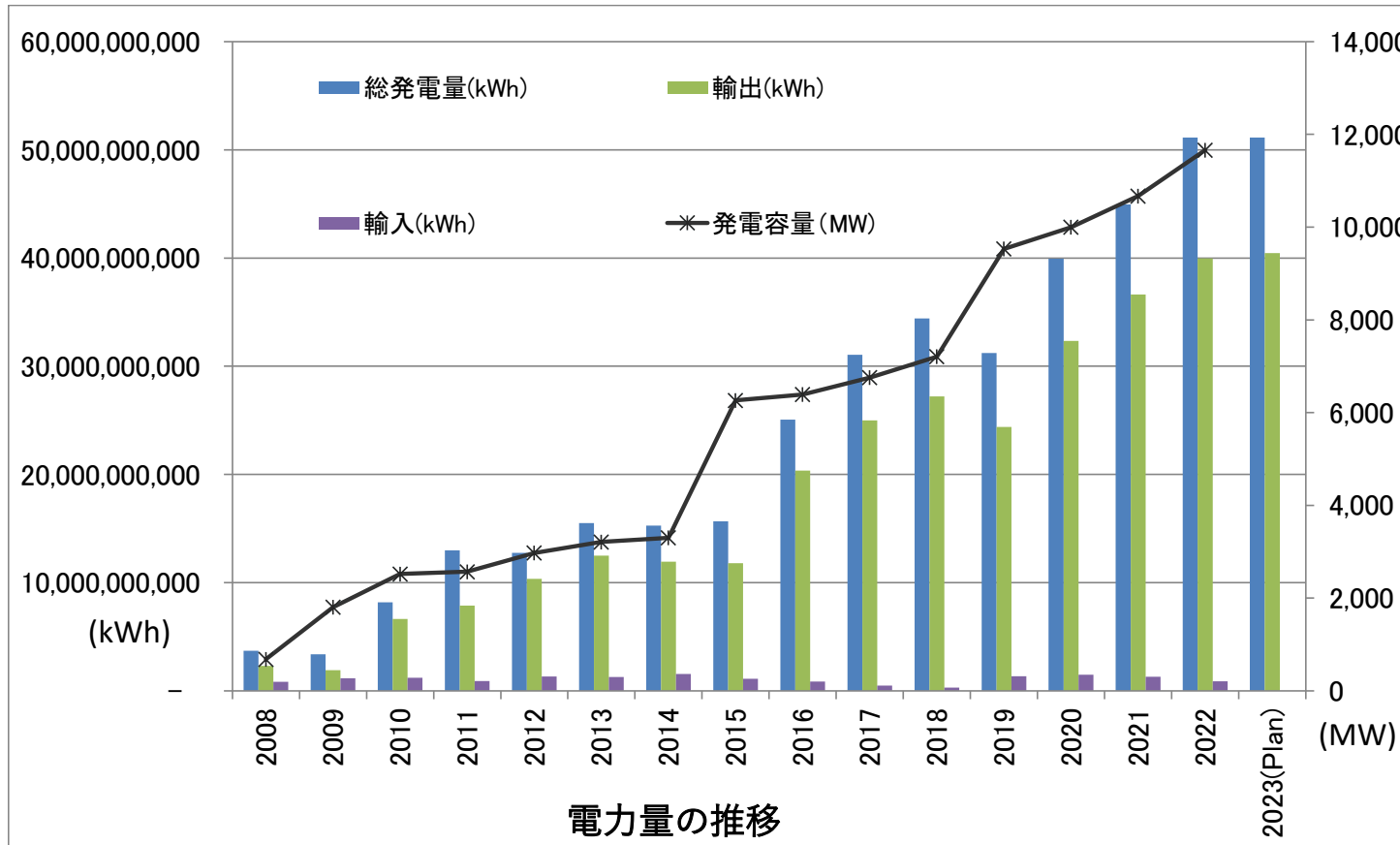
〔出所〕 農林省統計を元にジェトロ作成。

日本のコーヒー豆輸入額 (2022年)

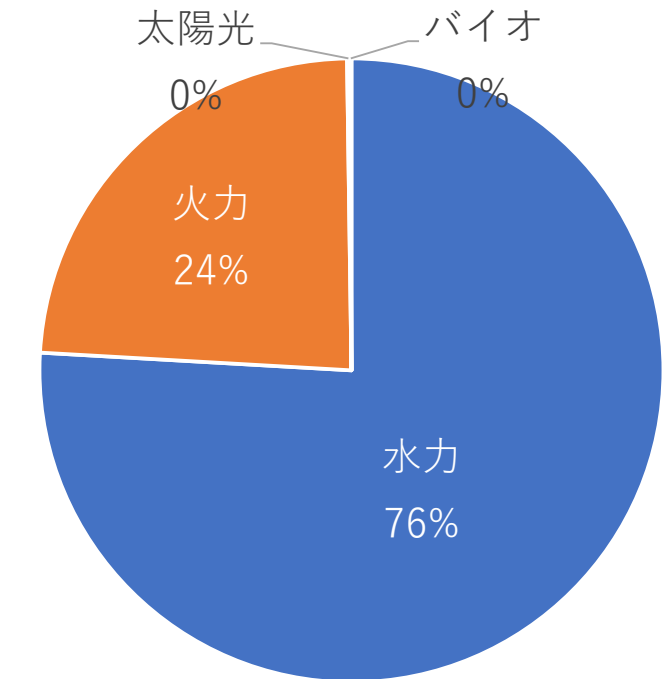
	国	金額 (1,000円)
1	ブラジル	56,588,281
2	コロンビア	38,376,119
3	ベトナム	29,387,987
4	エチオピア	17,595,837
5	グアテマラ	17,281,386
6	タンザニア	12,153,407
7	ホンジュラス	12,068,586
8	インドネシア	8,241,001
9	ペルー	4,633,342
10	ラオス	2,351,670

〔出所〕：財務省貿易統計からジェトロ作成 (2022年全期) <https://www.customs.go.jp/>

- 中国雲南省から流れるメコン河がラオス国内を北から南へ約1500km縦断
- いくつもの支流がメコン河に向かって流れ込む地形。
- 水力資源が豊富で、理論包蔵水力は2650万KW、うち技術的に開発可能な包蔵水力は1800万KW、メコン川支流だけでも開発可能な包蔵水力は1250万KWに達する
- 近年ラオス政府は積極的に水力発電ダムの建設を進めており、さらに太陽光、風力、地熱なども積極的に進めている。
- **2022年末までに91発電所（78ダム、8太陽光、4バイオ、1石炭）で10971MW、56096MKWHの発電能力を開発済み。**



電源の内訳（2022年/発電量ベース）



(出所) ラオスエネルギー鉱山省等



労働集約型産業

- 縫製、ケーブルハーネス、玩具、電子部品、自動車部品等



農業

- 中～大規模プランテーション、畜産ファーム、契約栽培等
- コーヒー、熱帯果物、野菜類など中国向けも活発化
- 農業機械・資材・技術などの販売



観光/ホスピタリティ

- 様々なランキングで高い評価（Google検索でも世界10位）



発電

- 水力、太陽光、風力、地熱、バイオなど



物流

- 鉄道貨物、国内小口配送、ドライポートなど



イノベーション/スタートアップ

- 脱炭素/電化、アグリテック、社会問題解決型

【参加者募集】ラオス農業ミッション概要



- 2月27日（火）～3月1日（金）現地集合/現地解散型
- 対象：日系農林畜産業および資機材製造・販売業、アグリテック企業など
- ラオスの農林畜産業や物流施設などを視察
- 既進出日系企業およびラオス企業、ラオス政府とのネットワークや商談会の場を設置
- 申し込みサイト：<https://www.jetro.go.jp/events/odd/9c00bee4a77c88d8.html>

2月26日 （月）	2月27日 （火）	2月28日 （水）	2月29日 （木）	3月1日 （金）
 ビエンチャン In	 ビエンチャン視察		 移動 (フライト)	
<ul style="list-style-type: none"> 26日までにビエンチャン集合 (活動はありません) 	<ul style="list-style-type: none"> オリエンテーション 要人表敬訪問 首都周辺視察 日系企業・ラオス政府/企業とのネットワーク/商談会 ビエンチャン泊 	<ul style="list-style-type: none"> 首都周辺視察 夕方便でパクセーへ移動 パクセー企業とのネットワーク/商談会 パクセー泊 	 ボラベン高原視察	<ul style="list-style-type: none"> パクセーへ車で移動 パクセー-SEZ視察 パクセー解散
			<ul style="list-style-type: none"> ボラベン高原へ車で移動 ボラベン高原周辺企業視察 ボラベン高原泊 	 パクセー視察 Out

*内容は変更する可能性があります



【お問い合わせ先】
 日本貿易振興機構（ジェトロ）ビエンチャン
 菊池保志(所長)、山田健一郎
 TEL : +856-21-454774
 FAX : +856-21-264173
http://www.jetro.go.jp/jetro/overseas/la_vientiane/
 Email : LVI@jetro.go.jp
 4th Fl., Vieng Vang Tower, Boulichan Rd., Dongpalan Thong
 Village, Sisattanak District, Vientiane, Lao P.D.R.



【ご注意】

本資料は参考資料として情報提供を目的に作成したものです。
 ジェトロは資料作成にはできる限り正確に記載するよう努力しておりますが、その正確性を保証するものではありません。本資料の記載内容に関して生じた直接的、間接的、あるいは懲罰的損害および利益の喪失については、一切の責任を負いません。これは、たとえジェトロがかかる損害の可能性を知らされていても同様とします。